

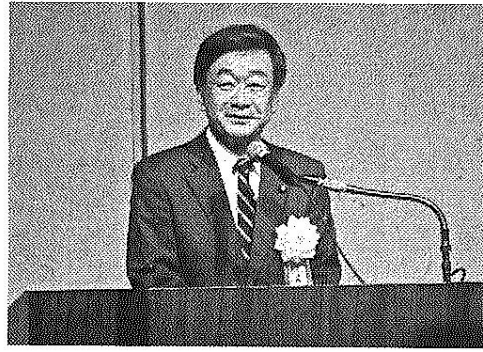
建通新聞

令和5年10月19日（木曜日）

自民党・足立議員

建設産業、インフラ再生

「日本経済を一流に戻す」



建設産業とインフラの再生なくして、日本の再生なしと訴える足立議員

自民党の足立敏之参院議員の支持者らが集まり「足立としゆき君を励ます会」が16日、東京都内で開かれた。足立議員は支持者らを前に「日本経済を一流に戻すために、建設産業とインフラの再生を、これからも訴えていく」などと国政への決意を改めて語った。足立議員は、2022年に2期目の当選を果たして以降、「建設産業の再生に加え、インフラの再生をも一つの柱として掲げ、社会資本整備の立て直しに取り組んできた」と強調。日本の現状については「この三十数年、経済成長しない残念な国になっている」と憂慮の念を示した。「日本の経済を一流に戻すためには、特に交通・物流インフラの充実、強化が必要だ。資材価格や人件費が高騰しており、昨年度と同程度の予算では公共事業量が実質目減りする。国土強靱（きょうじ）化の予算も確保しながら、公共投資を伸ばしていかなければならない」と訴えた。

励ます会には、足立議員が所属する宏池会（岸田派）の林芳正座長や根本匠事務総長の他、日本建設業連合会や全国建設業協会などの業界関係者約1000人が出席した。

